

911.3

ヤ

良太未集

田喜庵護物撰

四季
百題

女良太

朱集

初編

南兩
支庫

わくわく余の百歌の句を
わつたえり 子探えり せつ水
くさくさ 山を 梓よちと
くさくさ すすりり の千載
不朽のいさよ 雪
わく 夏月の夕おの

一巻のしるし
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

一保奏卯秋



茅柳の

うさぎの

うさぎ

田舎物



初年

うさぎ

田舎の

うさぎ

うさぎ

うさぎの

うさぎ



福山也

夜明

そらふ

維子
乃乎

信可

福壽也
日和鳩

如く
桶の中

吉子



正所也

惜しき

戸の事

つら

乙義

福山也

月と星と水と

花の色

桂子



猪籠や拙い
青山

来り

河新乃砂

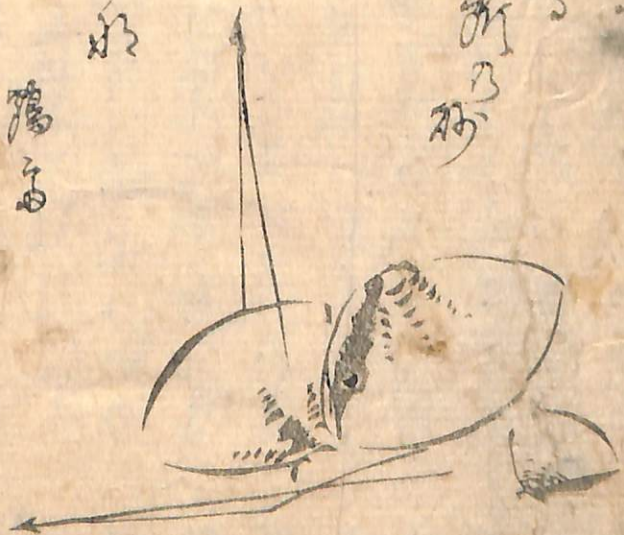
古雛に

舟

心

山家うね

瀉子



西の白く染に

ありらり花の子

静里

尾寺の

佛の

さる

根の菊

可玉



元

揚々名を奇々深々りとり合
うらとり子名を改く戻りし電
うら跡乃おのれと名けり別りぬ
きふゆ一うへ海りよ花をゆゆ
をんく花と隠く一人りぬ
人共ぬれいぬの彦射くゆゆぬ
日ハ神く渡ぬくまふゆ花雲
星る日ハ山の角るま流しぬ
家何くハつゝゝを南乃住居ぬ
うゝゝゝゝゝゝゝゝの盛るぬ
断口ハ二ツとつ咲く流しぬ

うき
如流
松家
り雲
左
跡島
奇山
書書
貝花
流所
深旭

躑躅

山吹

菊苗

く急きうぬ岩を抱くく流しぬ
山よりわ打乃く中さ流の坊
ろくろくハ山吹のさうりうを
秋くまにぬきぬゆゆ葉の菊
種本もあくて露ひぬさく乃菊
さく菊のれ密 菊よりさくれり
煙糸くうんをり菊の余り菊
さく菊や信り自標乃無きひ
勢く束てうくてもぬのさく菊
於う世を辱るゆ一花のさく菊
疾より花ぬゆ花さくさくさく

鳥信
松葉
信可
松木
舞山
如海
り雲
一葉
流可
うき

櫻草

上

景摘

行春

耕種金のくさくさなまのくさくさなま
手巾を下目や紐のくさくさなま
景所のくさくさなま夕も子の唄
傳もありくさくさなまにけり藤原の
けくまのくさくさなま流るる河川にけり
夕光の草もくさくさなま別りくさくさなま
大粒を西くさくさなまやまのくさくさなま
まの種を他くさくさなまはけり
ま明いつくさくさなままのくさくさなま垣
けくまのくさくさなまくさくさなま不二のくさくさなま
けくまのくさくさなまくさくさなま乃指りけり

高村
陸
うき
路高
樂之
可
可
指月
山
如流

松橋の眼もくさくさなまりやまのくさくさなま
くさくさなまくさくさなまくさくさなま
けくまのくさくさなまけりくさくさなま
くさくさなま

法可
うき
為僧

るる如

文衣

くさくさなまをくさくさなまくさくさなま
解きけりくさくさなまくさくさなま
くさくさなまくさくさなまくさくさなま
新艘をくさくさなまくさくさなま
くさくさなまくさくさなまくさくさなま
くさくさなまくさくさなまくさくさなま

松葉
森
左
松葉
可玉

旅衣

杉

柳

子

くさくさ

ひんがし

くさくさ

くさくさ

松



仙生會

柳色ぬ世にまのうつくは海端
 流るる瀧をむりたりて流子くぬ
 一投の良よ高き瀧すつり
 うつらふさうの仙生會 瀧の敷
 白神の瀧一とをこれのすつりぬ
 ニつとくさくさの柳くさくさつり
 さくぬの花のつさくさくさ
 瀧佛のくさくさくさくさ
 くさくさ佛のくさくさくさくさ
 瀧くさくさくさくさくさくさ
 春のくさくさくさくさくさくさ

角丸
 倚月
 静里
 法可
 全
 静波
 高僧
 静里
 如流
 弄玉
 可玉

菘子花

晴人の蔭つゝ山や蒼の花
ふ菘子のさめ々の度探る繸乃上
雷はもぬるにあゝ々々花
ゆうせと申もく々々花
おのつ乃麻奈うりりり花
るる乃乃乃乃乃乃乃乃乃
々々々々々々々々々々々々
あややや々々花
流う流う々々々々々々々々
うううううううううう
をををを山に目書うううう

壽山
松西
壽山
菘子
一着
可玉
松月
禪里
う書

菘葉

初松葉

石木立

是つゝ町の名つゝ々々々々々
う川初松葉々々々々々々
二階うううううううう
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
葉々々々々の山つゝ々々々々
本葉ハ山つゝ々々々々々々
心々々々の山つゝ々々々々
火をうてハ葉のふん々々々々
わ々々々とん々々々々々々々
うう葉々々々々々々々々々
雨乾々々々々々々々々々々

葉村
う書
可玉
松葉
葉之
鶴山
禪里
う書
如流
鳥像
可玉

飛蟻

扇

五葉

蝸牛

細彫の大部ぬきわたりり花
 樹のまゝの筆子くわりの花言々
 皆風を成くはあり花噴く如
 火の跳ハおれぬ家あり花の噴
 たまは緑の遊みぬ雲の舞うも
 池の景をえんふくくは深層が
 めろねく月影梅やえるの葉
 向ひ今と地り路自のうらむり
 夕やけを夜程の雲のわくくつむり
 西もぬや枯りくくくくくくく
 花葉くくくくくくくくくくく

一葎
 其雲
 鳥
 うる
 樂之
 如流
 蘇里
 松葉
 可電
 如流
 可玉

佛法傍

山

山

山



山は明く

寺もりの

仏生会

可玉

石葛

石葛の藤井戸に咲く花は
世に名もなき花に
石葛の藤は
ささげの藤より
まじりて
いづれも
水音
松田
左

琴

法可

長雲

棒波

源旭

蓮子

松田

左

可五

左

左

羽板

青田

西

松田



石

葛

藤

石葛の樹

富士詣

藤くさけの二つありしを鶴の如
き蓮の如し西にありしを鶴の如
橋の如し藤の家をゆくを鶴の如
一群の雲を越えりしを鶴の如
むらさきくさの二つありしを鶴の如
蓮乃の如し西にありしを鶴の如
さかたの如し人の花をゆくを鶴の如
藤の如し藤の家を越えりしを鶴の如
降の如し西にありしを鶴の如
さかたの如し人の花をゆくを鶴の如
秋風の如し西にありしを鶴の如

一藪
高松
可出
嘆山
松子
可出
松藪
松山
松雨
情可

御聖會

抱翁

蓮

抱翁よよよよよよよよよよ
さかたの如し人の花をゆくを鶴の如
藤の如し藤の家を越えりしを鶴の如
降の如し西にありしを鶴の如
さかたの如し人の花をゆくを鶴の如
秋風の如し西にありしを鶴の如

可出
樂之
一草
子欣
倚月
指月
法可
可出
萱月
う雲
松雨

川狩

川よりわが御の舟出まはしに
 鮎遊とせく川より舟の跡の如
 ういひやうやうと毎箇一長刀
 川跡の神よりまゝとる里の女
 川よりわが御の舟の跡の如
 うに跡の如くまゝとる里の女
 田上から西乃河原を流川跡
 川よりわが御の舟出まはしに

樂之
 鶴
 偏月
 松蔭
 南丸
 信可
 其雲
 可五

立秋

秋乃秋

そこの秋を初めは扇の中は端より
 及び佛の花を建てる世に秋
 大川秋の如く白妙の草乃夏
 桂川の中を流るる水は秋
 多量のものを流すすくすく
 流すすくすく流るる水は秋
 出まはしに又所を花火
 川よりわが御の舟出まはしに

偏月
 松雨
 深池
 うる
 松蔭
 可五
 橋丸
 可五
 左

観洗

花火

秋風の

松葉

清く

たつた

清く
の秋

秋の

きききききき

ゆき

雪



隣

う

き

う

う

き

現

き

清



松丸

芭蕉

西雲の陣裏へは縁色もせ波が

静里

秋の蝶

藤のうらふ雨の多きくも世波の
ニツ来りふふいきし 秋の蝶

静波

角力

松原のそとへゆくやうな秋のふ
處へもくもく歩むるうらまへ角力

堯山

雲

山の戸やをた羽風も雲の音

可玉

去る雲のや雲れても又草の上

左

秋の雲のや雲れりおとる 藤原の意

左

葦野

えりりかきくもくもくおとる 葦野の意

松月

葦のうらむふ才出合する 素良の意

静波

西の音をたつやうな 葦野の子持

可玉

蕃椒

北の音もくもくもくおとる 蕃椒の意

松西

南の音もくもくもくおとる 蕃椒の意

偏月

堂吉のつむもくもくおとる 蕃椒の意

松菜

若菫

色もくもくもくおとる 若菫の意

樂之

やうくおとるもくもくおとる 若菫の意

信可

山風のこもくもくおとる 若菫の意

静里

自在の音もくもくおとる 若菫の意

静里

糸丸

糸丸の音もくもくおとる 糸丸の意

静里

鳴子

去る音もくもくおとる 鳴子の意

左

今年菜

今年菜の音もくもくおとる 今年菜の意

の意

秋の音もくもくおとる 今年菜の意

松菜

釋波

行音也

庭うり
西に

の
場
家

未之能

ちり
の

寺の
家

南
也



水

雨さし

子

子

子

子

可玉

依りて

庭

玉



静波

静波

庭

の

庭



静波

庭

静波の庭

玉

青山

啄木

あうも

湯の毒

いそひたり



さくらの岡の宿

くらねえ

うき

待音

夢う花

愛舟香

賜

本巻

本

さくらの岡の宿の唄
 たてまゝの一人の寺
 手のまゝのうらまへ
 さくらさやわお静ある庵
 静のまゝの野も静
 静いと静く静の宿
 まぐさの宿の宿
 本巻の宿も静も
 本巻の宿も静も
 宿のまゝの宿
 宿のまゝの宿

うき
 いらば
 静果
 可玉
 山峨
 可玉
 左
 福丸
 可玉
 左
 左

可憐

鳥の鳴き声

あゝ

きき

心の音



遠く来た鳥

海を渡る鳥

静里

秋と情

秋の鳥は島に訪るは乃葉
雲ももろもろに秋の波うら
秋の海。心も遠く秋の空
静の心も花うらや秋の雲
ささげの波をうらや秋の空

鳥の歌

鳥の歌はあはれも秋の音
あはれもあはれも秋の音
あはれもあはれも秋の音
あはれもあはれも秋の音

弄玉

静里

可憐

静里

可憐

静里

可憐

静里

可憐

静里

青山

好秋の

照り

る

秋好

秋の

好

秋の



如流

秋の

秋の

川

秋の

秋の

秋の



さきねく口のさびきよらうれき
うねん様夕なれぬしききき
晴くすはなれぬわらわら
舟かたききききききき
さね海や旭ききききき
霧れききききききき
はまも林きききききき
松のききききききき
さきの花のあきききき
ちのり花の山きききき
さきの花のききききき

津揚
清可
豊月
角丸
松月
可玉
高村
高島
柏青
松琴
路者

菜の花

牡丹

花

菜の花のむらさきもこい村渡
さきの花のむらさきもこい村渡
ちのり花のむらさきもこい村渡
牡丹のむらさきもこい村渡
入院すもさきの花もこい村渡
しききききききききき
松林のむらさきもこい村渡
おききききききききき
さねきききききききき
さねきききききききき
さねきききききききき

樂之
可玉
山哉
松雨
可玉
青山
山哉
静波
一葦
其地
如流

霜

美姫く口のさしきよきよしうれまき
うねり秋夕ふねの煙しきよきよ
晴くすけさるれ烟るわらわら花霞
舟かたえきあしはるや霧れり朝
霧の海や旭さしはく湖の上
霧れれさしきよきよきよきよ
葉も林奥きよきよ葉折る雪は銀の
松のさしきよきよきよきよきよ
葉のさしきよきよきよきよきよ
ちやら花や山きよきよきよきよ
葉のさしきよきよきよきよきよ

弄揚 清可 豊月 南丸 松月 可玉 雲村 踏音 柏青 松翠 踏音

葉の花

花時

花時

葉のさしきよきよきよきよきよ 村渡
葉のさしきよきよきよきよきよ 中
ちやの花れきよきよきよきよきよ 入り
花牡丹さしきよきよきよきよきよ
入隠すきよきよきよきよきよきよ 牡丹
しきよきよきよきよきよきよきよ
松林の男座しきよきよきよきよきよ
柏さしきよきよきよきよきよきよ
葉のさしきよきよきよきよきよきよ
さしきよきよきよきよきよきよきよ
さしきよきよきよきよきよきよきよ

樂之 可玉 山哉 松雨 可玉 弄山 山哉 赫波 一葦 其地 如流

雪舟の
筆

兼乃木

暎

極子

雪舟

白

暎

暎

極子



霧の山

静波

うら

ふ

*

る

糸の山

善の山

善の山

白の山

善の山



善の山

善の山

善の山

善の山

善の山

善の山

善の山

善の山

善の山





絶子

多羅り

高き山

向ふり

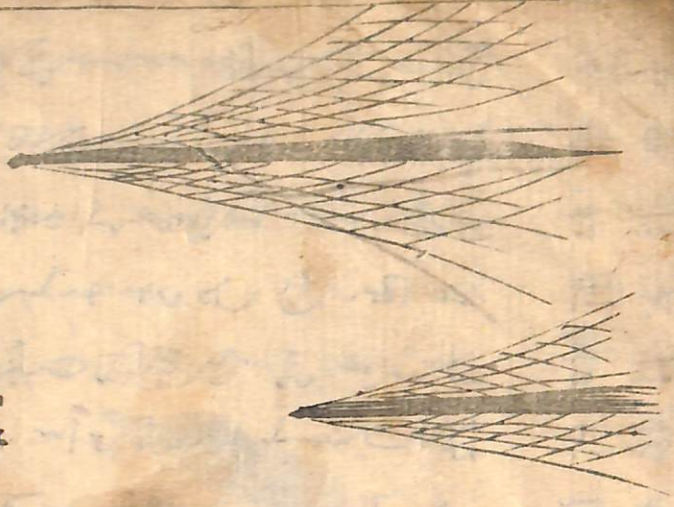
鯨

老の海

杉

彌
卷
子
子
子

子



世

子

子

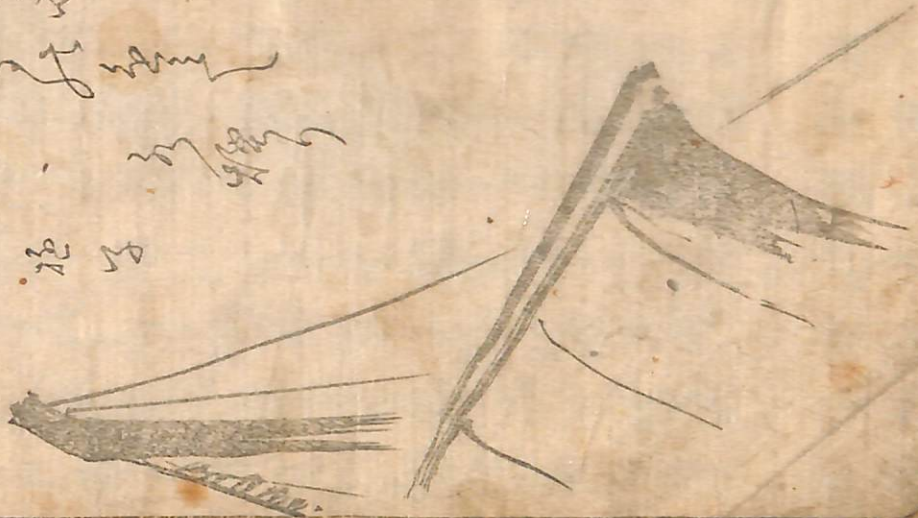
子
子

子

子

子

子
子



生海氣

このあきさき草屋の風をわ帳の夢
将基えくそやうてあやむやあきそ雲
まぬりし形の行くる生海氣
おんあきさきさきさきさきさきさき
起極子持あきさきさきさきさきさき
岩う海乃輝り眼齒そ小野の夜
世海りも細ささむらわ岩のう海
我里もえぬ海あや岩のう海り
ふーり明さきさきさきさきさき
岩う海あきさきさきさきさき
初夜さきさきさきさきさき

休世
弄山
可五
楚子
楚江
全
舟西
連島
静波
路高

炭竈

雪

氷柱

晦日の初めあきさきさき
残たさきさきさきさき
雪舞をたさきさきさき
初々人のあきさきさき
たはさきさきさきさき
上は絲の若うも思つたさき
さきさきさきさきさき
口乃御共さきさきさき
徳ふさきさきさきさき
植の口乃集りさきさき
つし海しもせぬさきさき

一藪
可五
山峨
松月
井雨
橋丸
如流
静里
可五
如流
杉雨

舟舟五

七土之清く... 舟舟の... 舟舟五

一蒸



舟舟の... 舟舟五... 舟舟の... 舟舟五... 舟舟の... 舟舟五...

舟舟五... 舟舟五...

明治三十四年

高野...

安良寺未初編 尾

